

令和7年
夏号

感染症情報



しっかり手洗いをして夏風邪予防！！

夏風邪とは…？

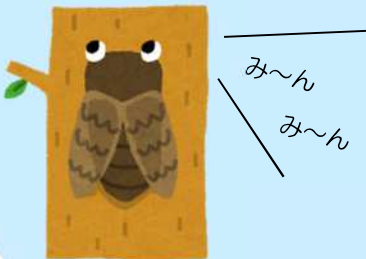
手足口病やヘルパンギーナなどの原因となるエンテロウイルスや咽頭結膜熱などの原因となるアデノウイルスによる、夏に流行しやすい感染症のことを一般的に「夏風邪」といいます。

手足口病

手のひらや足の裏に米粒大の水ぶくれをとともう発しん、口内炎、食欲不振、のどの痛みなどが症状として現れます。

ヘルパンギーナ

38度以上の突然の高熱、のどの奥に水ぶくれが起きます。



咽頭結膜熱（通称プール熱）

高熱、のどの痛み、目の症状（充血、目の痛み、目やに）、リンパ節の腫れなどが症状として現れます。



予防のポイント



アルコールが効きにくい
ため、手洗いがとても大切です！

トイレの後やおむつ交換の後、食事の前には
手洗いをしっかりし、自分専用のタオル
もしくはペーパータオルで拭きましょう！



咳やくしゃみをするときは口と鼻をティッシュ
でおおう等咳エチケットを心がけましょう！



令和7年7月作成 今後新たな情報や知見により、内容が変更する可能性があります。各自で最新の情報をご確認ください。

<問合せ先> 荒川区保健予防課 感染症予防係 TEL：03-3802-4243（直通）

最新の感染症発生情報はこちらをご覧ください →

ポスター掲載期間：7月1日～8月31日まで

